

農業水路等長寿命化・防災減災事業

土 地 改 良 事 業 計 画 概 要 書

なな うら かん たく
七 浦 干 拓 地 区

県 営 土 地 改 良 事 業
(基幹水利施設ストックマネジメント事業)

目次

第1章　　目的

当施設は、昭和54年度から昭和58年度にかけ県営排水対策特別事業 七浦地区として造成されたものである。しかし、造成後42年が経過し、施設の経年劣化進行による機器類の故障頻度が増加傾向にあり、排水機能の維持が課題となっている。

令和4年度に実施された機能診断では、劣化対策が必要との健全度評価が示されており、機能診断を基に策定された機能保全計画では、早急な保全対策が施設の長寿命化及び維持管理コストの低減に寄与することとなっている。

当該施設において故障した場合には、農地等への湛水被害が生じ農作物の生産に大きく支障をきたすことから、早急に対策を講ずる必要がある。

第2章　　地域の所在及び現況

(1) 地域の所在

佐賀県鹿島市大字音成

(2) 地積

(単位：ha)

区分	田	畠	山林	その他	計
面積	49.0	30.5	—	—	79.5

(3) 現況

本地区は、佐賀県の南西部に位置し、多良岳の地先に広がる有明海の一角を昭和21年度から昭和49年度まで実施した代行干拓事業により造成された陸地である。

地区内の乾田化を図り稻作転換の定着と畑作振興を推進する目的で、昭和56年度から昭和63年度に土地改良総合整備事業により行われた再整備と並行して、昭和54年度から昭和58年度にかけて県営排水対策特別事業 七浦地区により当該施設が造成されたものである。

第3章 基本計画

(1) 一般計画

湛水を防止するため当該施設の排水機能を維持することを目的に機能保全計画に基づき排水機場の施設補修や更新整備を行い、地域農業の持続的な営農環境と農村環境を確保する。

(2) 環境配慮

本地区は田園環境マスタープランの環境配慮区域に位置づけられているが、配慮すべき希少な動植物は確認されていないため、希少動植物に配慮した施設計画は行わない。しかし、工事中に配慮すべき希少動植物が確認された場合は、関係部局と協議し保護移植等の対策を講じる。

第4章 工事又は管理の要領

(1) 工事の要領

項目	内 容	
ポンプ設備	主ポンプ・主原動機の更新	2台
	電動吐出弁の整備補修	1台
	燃料系統の更新	1式
電気設備	発電設備の更新	1式
	高圧引込盤、変圧器盤、主ポンプ盤、補機盤	1式
	吸水槽水位計、吐出水槽水位計	3基
ゲート設備	吐出ゲート	
	扇体の補修、開閉装置、機側操作盤の更新	1門
除塵設備	除塵機本体、搬送装置の更新	1式
	機側操作盤の更新	
土木構造物	吐出樋管の補修	1式
建築物	機場搬入口シャッターの更新、外壁、内壁の補修	1式

(2) 管理の要領

本事業で整備された施設については、施設管理者である鹿島市にて引き継ぎ管理を行う計画である。

第5章 換地計画の要領

該当なし

第6章 費用の概算

総事業費 512,000 千円

(工事費 489,000 千円 工事雑費 9,000 千円 事務費 14,000 千円)

第7章 効用

区分	項目	年効果額 (千円)	総便益額 (千円)	年增加農業所得額 (千円)
食料の安定供給の確保に関する効果	作物生産効果	25,424	517,907	25,170
	営農経費節減効果	15,202	309,677	
	維持管理費節減効果	△ 4,876	△ 99,326	
農業の持続的発展に関する効果	災害防止効果（農業関係資産）	1,528	31,125	1,528
農村の振興に関する効果	災害防止効果（一般資産）	0	0	0
多面的機能の発揮に関する効果	災害防止効果（公共資産）	0	0	0
その他の効果	国産農作物安定供給効果	3,520	71,706	
	計	40,798	831,089	26,698
	うち農業効果	37,278	759,383	*令和7年度単価*

総便益額（現在価値化） = 831,089 千円 ※評価期間内で発生する効果額

総費用（現在価値化） = 626,173 千円 ※評価期間内に必要な整備費

総費用総便益比（総便益額／総費用） = 1.32

評価期間（当該事業の工事期間+40年）=43年 ※うち、工事期間3年

第8章　　他の事業との関係

該当なし

第9章　　計画概要図

別添のとおり